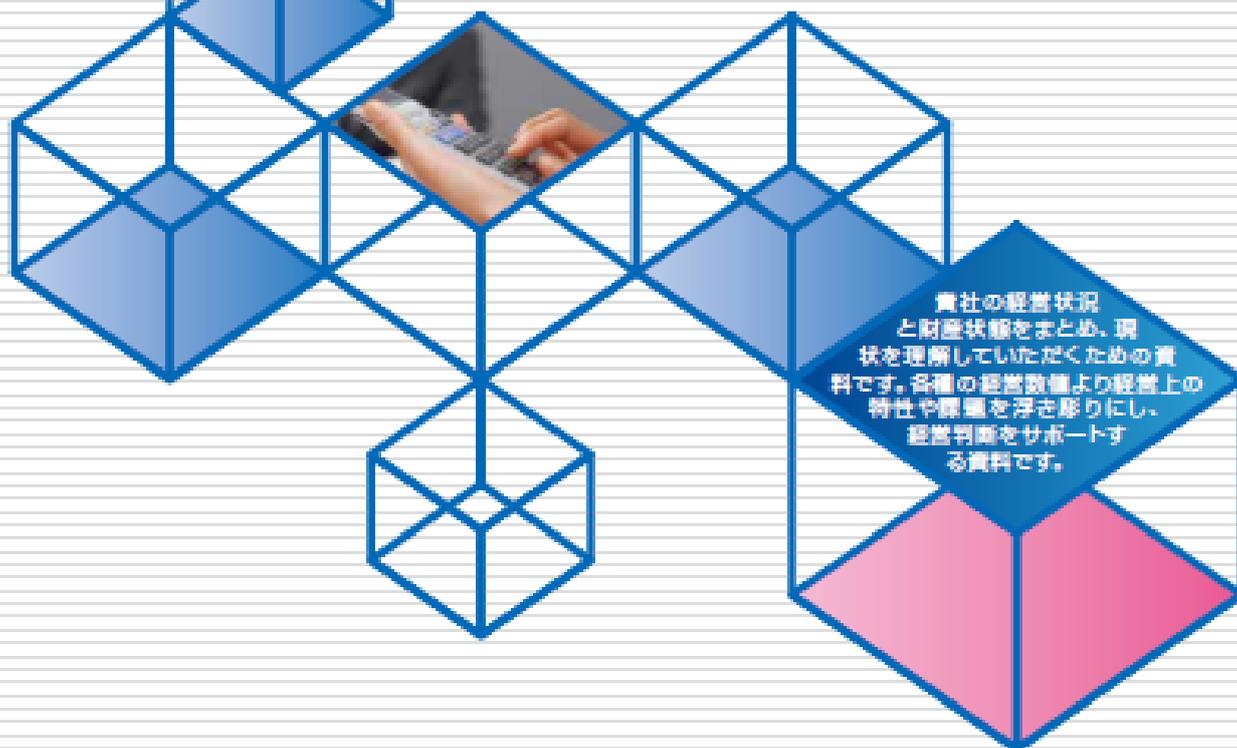




BIZUP 発展会計 当期業績レポート



貴社の経営状況
と財産状態をまとめ、現
状を理解していただくための資
料です。各種の経営数値より経営上の
特性や課題を浮き彫りにし、
経営判断をサポートす
る資料です。

当期業績レポート目次

汐留商事(株)

平成25年6月

1. 当月までの業績総括	1
2. 業績分析	2
(1)3期比較収益力分析	2
(2)月次損益推移表	3
(3)業績要因分析	4
(4)損益分岐点分析	5
(5)移動年計	6
3. 資金分析	7
(1)CF変動分析	7
(2)当期利益の行方	8
4. 資主要経営指標分析	9
(1)収益性分析	
(2)生産性分析	
(3)安全性分析	
5. 目標利益別必要売上	10
6. 経営改善ナビ	11
(1)業務改善テーマ	11
(2)不正防止・業務改善ラ	11
(3)人事・労務テーマ	12

01 当月までの業績総括

汐留商事(株)

平成25年6月

①業績総括

今期は前期と比較すると **増収増益** です。

売上高は、 **42,699** 千円増加しています。

限界利益は、 **36,766** 千円増加しています。

固定費は、 **45,999** 千円減少しています。

営業利益は、 **82,765** 千円増加しています。

経常利益は、 **83,404** 千円増加しています。

②資金総括

総キャッシュフローは、 **27,326** 千円増加しています。

営業キャッシュフローは、 **69,042** 千円減少しています。

投資キャッシュフローは、 **158,732** 千円増加しています。

フリーキャッシュフローは、 **89,690** 千円増加しています。

財務キャッシュフローは、 **50,364** 千円減少しています。

③経営指標総括

売上高経常利益率は **8.8%** です。

総資本経常利益率は **7.0%** です。

自己資本経常利益率は **8.7%** です。

1人当たり経常利益は **4,010** 千円です。

02 1 3期比較収益力分析

汐留商事(株)

#####

①業績総括

売上高は 前年対比 **108.7%** 前々年対比 **106.5%** です。

限界利益は 前年対比 **108.1%** 前々年対比 **104.6%** です。

人件費は 前年対比 **89.9%** 前々年対比 **93.3%** です。

その他固定費は 前年対比 **87.3%** 前々年対比 **85.9%** です。

営業利益は 前年対比 **283.9%** 前々年対比 **191.4%** です。

経常利益は 前年対比 **220.9%** 前々年対比 **161.6%** です。

②3期比較損益分析

(単位：千円、%)

項目	当期累計	前期累計	前年対比	前々期累計	前々年対比
売上高	530,738	488,039	108.7%	498,396	106.5%
変動費	37,358	31,425	118.9%	26,489	141.0%
限界利益	493,381	456,615	108.1%	471,907	104.6%
(限界利益率)	93.0%	93.6%	99.4%	94.7%	98.2%
人件費	220,585	245,470	89.9%	236,421	93.3%
その他固定費	145,025	166,140	87.3%	168,744	85.9%
営業利益	127,770	45,005	283.9%	66,742	191.4%
営業外収益	27,927	27,877	100.2%	31,088	89.8%
営業外費用	3,333	3,922	85.0%	3,573	93.3%
経常利益	152,364	68,961	220.9%	94,257	161.6%
特別利益	0	96,686	-	0	-
特別損失	0	201	-	0	-
税引前当期純利益	152,364	165,446	92.1%	94,257	161.6%

③収益性分析

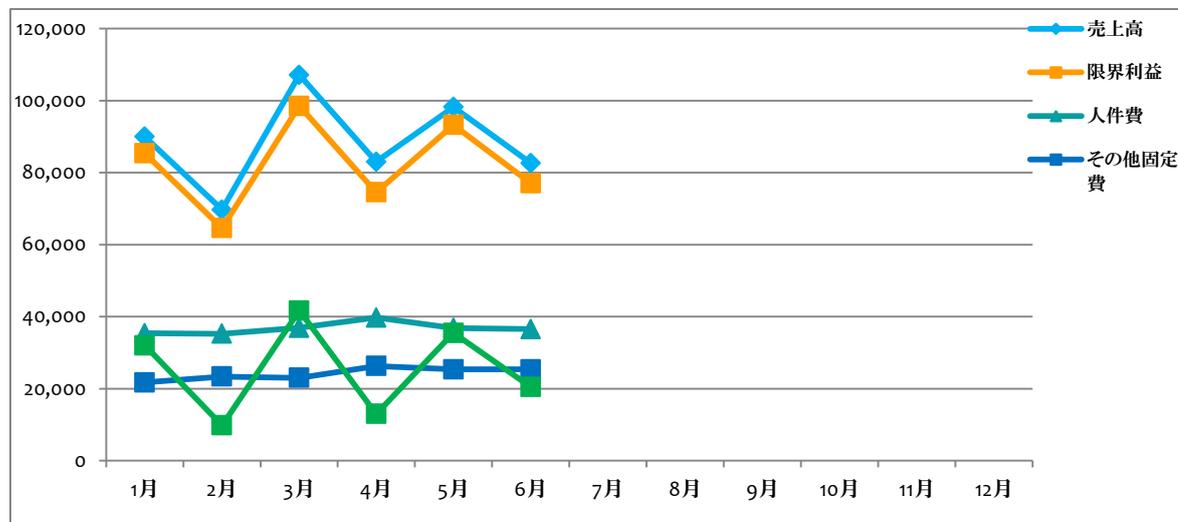
経営指標	当期	前期	前年対比	差異要因
売上高経常利益率	8.8%	12.1%	72.7%	
総資本経常利益率	7.0%	10.1%	69.3%	
自己資本経常利益率	8.7%	5.9%	146.9%	
1人当たり経常利益	4,010	2,866	139.9%	

02 2 月次損益推移表

汐留商事(株)

平成25年6月

①月次損益推移グラフ



②月次損益推移表

(単位: 千円、%)

	売上高	変動費	限界利益	(限界利益率)	人件費	その他固定費	経常利益
前々期月平均	86,451	4,323	82,128	95.0%	39,135	23,640	19,352
前期月平均	86,972	5,363	81,609	93.8%	39,228	24,232	18,149
1月	89,992	4,620	85,372	94.9%	35,391	17,963	32,018
2月	69,691	5,067	64,624	92.7%	35,254	19,606	9,764
3月	107,150	8,628	98,522	91.9%	36,876	19,962	41,684
4月	83,021	8,480	74,541	89.8%	39,725	21,847	12,969
5月	98,221	4,968	93,253	94.9%	36,830	20,957	35,466
6月	82,663	5,595	77,068	93.2%	36,509	20,095	20,464
7月							
8月							
9月							
10月							
11月							
12月							
累計	530,738	37,358	493,380	93.0%	220,585	120,430	152,365

※その他固定費に営業外損益が含まれていますので、「限界利益-固定費=経常利益」となります。

①売上・限界利益分析

(単位：千円、%)

	売上高			限界利益		
	前期実績	当期実績	前年対比	前期実績	当期実績	前年対比
1月	82,802	89,992	108.7%	79,262	85,372	107.7%
2月	69,583	69,691	100.2%	64,222	64,624	100.6%
3月	97,694	107,150	109.7%	90,215	98,522	109.2%
4月	71,635	83,021	115.9%	67,427	74,541	110.6%
5月	88,792	98,221	110.6%	83,734	93,253	111.4%
6月	77,534	82,663	106.6%	71,755	77,068	107.4%
7月						
8月						
9月						
10月						
11月						
12月						
累計	488,039	530,738	108.7%	456,615	493,380	108.1%

②人件費・その他固定費分析

(単位：千円、%)

	人件費			その他固定費		
	前期実績	当期実績	前年対比	前期実績	当期実績	前年対比
1月	40,197	35,391	88.0%	24,353	21,724	89.2%
2月	40,355	35,254	87.4%	26,331	23,341	88.6%
3月	42,759	36,876	86.2%	28,048	22,985	81.9%
4月	40,665	39,725	97.7%	28,802	26,280	91.2%
5月	40,042	36,830	92.0%	29,985	25,331	84.5%
6月	41,452	36,509	88.1%	28,622	25,364	88.6%
7月						
8月						
9月						
10月						
11月						
12月						
累計	245,470	220,585	89.9%	166,140	145,025	87.3%

③経営指標分析

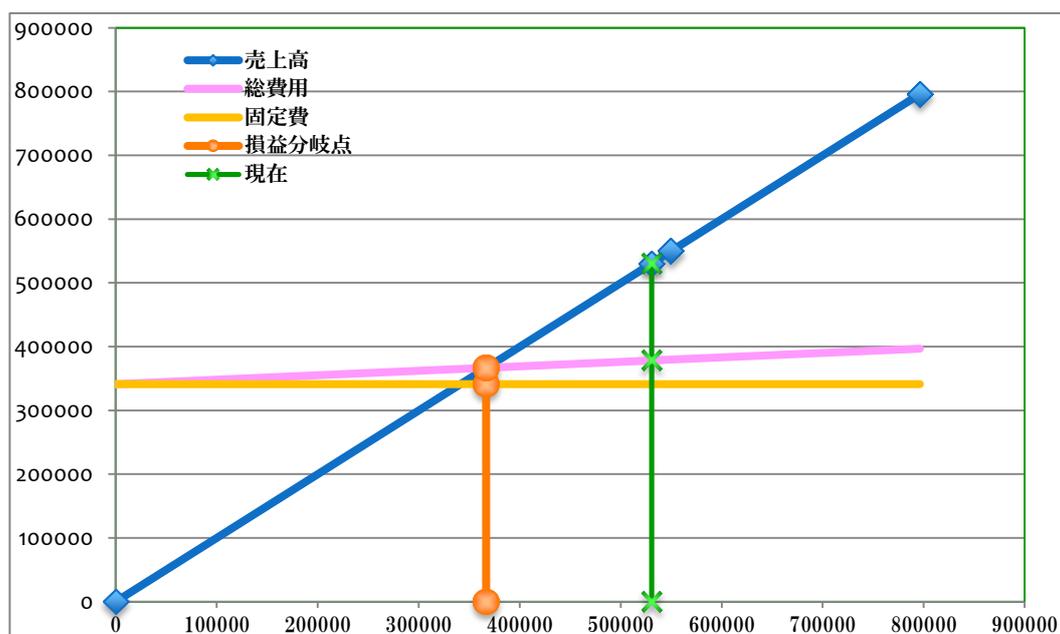
経営指標	当期	前期	前年対比	差異要因
労働分配率	43.2%	46.8%	108.3%	
一人当たり限界利益	13,440	13,249	98.6%	
一人当たり人件費	5,805	6,194	106.7%	

①総括

損益分岐点は、 **366,684** 千円です。

経営安全率は **30.9%** で、損益分岐点売上高を **164,054** 千円上回っています。

②損益分岐点グラフ



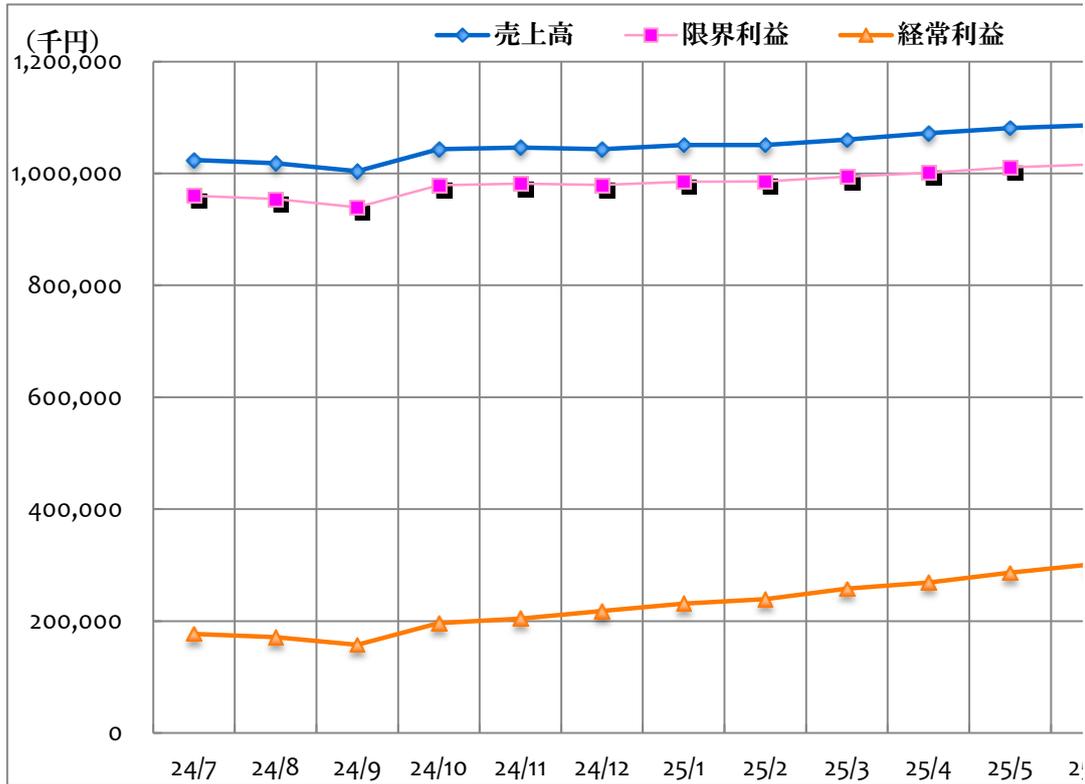
③計算の基になる実績値

項目	実績
売上高	530,738
変動費	37,358
(変動比率)	7.0%
限界利益	493,381
(限界利益)	93.0%
固定費 ①	365,610
営業外収益 ②	27,927
営業外費用 ③	3,333
(①-②+③)	341,016
経常損益	152,364
損益分岐点売上高	366,684
損益分岐点比率 < % >	69.1%
経営安全率 < % >	30.9%
経営余裕売上高 < 千円 >	164,054

02 5 移動年計(売上高/限界利益/経常利益)

汐留商事(株)

平成



注：年計表は一年間の推移を表し、移動年計することによって、季節変動を消して、傾向を把握することが出来ます。

(単位：千円)

	売上高	限界利益	経常利益
24/7	1,023,957	960,347	176,913
24/8	1,018,066	954,396	171,365
24/9	1,004,194	939,511	157,773
24/10	1,043,209	979,151	196,422
24/11	1,046,347	981,734	204,465
24/12	1,043,661	979,304	217,793
25/1	1,050,852	985,415	231,374
25/2	1,050,960	985,818	239,137
25/3	1,060,416	994,125	257,697
25/4	1,071,802	1,001,239	268,878
25/5	1,081,232	1,010,758	286,321
25/6	1,086,360	1,016,071	301,197

25年6月



03 1 CF変動分析

平成25年6月

①総括

当月までのキャッシュフロー増加額は	27,326	千円です。
当月までの営業キャッシュフローは	-69,042	千円です。
当月までの投資キャッシュフロー	158,732	千円です。
当月までのフリーキャッシュフローは	89,690	千円です。
当月までの財務キャッシュフローは	-50,364	千円です。

②キャッシュフロー実績

(単位：千円、%)

I 営業活動によるキャッシュフロー	
	累計実績
税引前当期純利益	152,364
減価償却費	12,600
貸倒引当金の増加額	0
退職給付引当金の増加額	0
受取利息配当金	-700
支払利息	3,244
売上債権増加(減少)額	37,807
棚卸資産増加(減少)額	0
仕入債務増加(減少)額	0
その他流動資産増加(減少)額	-211,673
その他流動負債増加(減少)額	-70,768
割引手形の増加(減少)額	0
その他増減額	10,628
小計	-66,499
利息及び配当金の受取額	700
利息の支払額	-3,244
法人税の支払額	0
その他営業活動による増減額	0
営業キャッシュフロー	-69,042
II 投資活動によるキャッシュフロー	
	累計実績
有価証券の増加(減少)額	0
有形固定資産の増加(減少)額	208,298
投資その他の資産の増加(減少)額	-43,466
貸付金の増加(減少)額	-6,100
その他投資活動による増減額	0
投資キャッシュフロー	158,732
III 財務活動によるキャッシュフロー	
	累計実績
短期借入金の増加(減少)額	-50,364
長期借入金の増加(減少)額	0
株式の発行による収入	0
配当金の支払額	0
その他の財務活動による増減額	0
財務キャッシュフロー	-50,364
IV 現金及び現金同等物の増加額	27,326
V 現金及び現金同等期首残高	1,203,772
VI 現金及び現金同等期末残高	1,231,098

03 2 当期利益の行方

汐留商事(株)

平成25年6月

①貸借対照表 期首比較

(単位:千円、%)

項目	期首残高	財産の増加	財産の減少	当月残高
[現金 / 預金]	1,203,772	27,326		1,231,098
[売上債権]	135,930		37,807	98,123
[棚卸資産]	225			225
[他流動資産]	161,838	24,339		186,178
【 流動資産 】	1,501,765	13,859		1,515,624
[有形固定資産]	552,487		208,298	344,189
[無形固定資産]	24,971		12,600	12,371
[投資その他の資産]	402,327	244,551		646,878
【 固定資産 】	979,785	23,652		1,003,438
【 繰延資産 1 】	1,796			1,796
【 資産の部 】	2,483,347	37,511		2,520,858
[他流動負債]	342,380		102,853	239,527
【 流動負債 】	342,380		102,853	239,527
【 固定負債 】	472,278			472,278
【 負債の部 】	814,658		102,853	711,805
【 資本剰余金 】	40,000			40,000
【 利益剰余金 】	1,628,689	140,364		1,769,053
【 株主資本 】	1,668,689	140,364		1,809,053
【 純資産の部 】	1,668,689	140,364		1,809,053
【 負債・純資産の部 】	2,483,347	37,511		2,520,858

②主要項目分析

科目	期首残高	当月残高	増減	増減要因/想定リスク
売掛債権	135,930	98,123	-37,807	
棚卸資産	225	225	0	
仕入債務	38,067	42,341	4,274	
借入金	585,141	523,042	-62,099	

04 主要経営指標分析

汐留商事(株)

平成25年6月

①収益性分析

(単位：%、回)

科目	累計			標準値	判定
	前期	当期	差異		
総資本経常利益率	8.8%	12.1%	3.3%	3.98%	5
売上高営業利益率	16.7%	24.1%	7.4%	2.87%	5
売上高経常利益率	20.9%	28.7%	7.8%	3.48%	5
総資本回転率	0.42	0.42	0	1.14	1

標準値は 専門・技術 の平均値

[判定基準] 標準値に対する評価を以下の基準に基づき行います。

指標/点数	5	4	3	2	1
総資本経常利益率	120%以上	105~119%	95~104%	81~95%	80%以下
売上高営業利益率	120%以上	105~119%	95~104%	81~95%	80%以下
売上高経常利益率	120%以上	105~119%	95~104%	81~95%	80%以下
総資本回転率	120%以上	105~119%	95~104%	81~95%	80%以下

②生産性分析

(単位：%、千円)

科目	累計			標準値	判定
	前期	当期	差異		
限界利益率	93.8%	93.0%	-0.8%	65.81%	5
1人当たり売上高	13,732	13,967	235	12,650	4
1人当たり限界利益	13,249	13,440	191	8,320	5
1人当たり人件費	6,194	5,805	-389	4,350	1
労働分配率	46.8%	43.2%	-3.6%	52.31%	4

[判定基準] 標準値に対する評価を以下の基準に基づき行います。

指標/点数	5	4	3	2	1
限界利益率	120%以上	105~119%	95~104%	81~95%	80%以下
1人当たり売上高	120%以上	105~119%	95~104%	81~95%	80%以下
1人当たり限界利益	120%以上	105~119%	95~104%	81~95%	80%以下
1人当たり人件費	80%以下	81~95%	95~104%	105~119%	120%以上
労働分配率	80%以下	81~95%	95~104%	105~119%	120%以上

③安全性分析

科目	累計			標準値	判定
	前期	当期	差異		
流動比率	438.6%	632.8%	194.2%	186.04%	5
当座比率	438.6%	632.7%	194.1%	143.70%	5
固定比率	58.7%	55.5%	-3.2%	85.51%	5
固定長期適合率	53.2%	50.6%	-2.6%	55.67%	4
自己資本比率	67.2%	71.8%	4.6%	43.08%	5

[判定基準] 標準値に対する評価を以下の基準に基づき行います。

指標/点数	5	4	3	2	1
流動比率	120%以上	105~119%	95~104%	81~95%	80%以下
当座比率	120%以上	105~119%	95~104%	81~95%	80%以下
固定比率	80%以下	81~95%	95~104%	105~119%	120%以上
固定長期適合率	80%以下	81~95%	95~104%	105~119%	120%以上
自己資本比率	120%以上	105~119%	95~104%	81~95%	80%以下

05 目標利益別必要売上

汐留商事(株)

平成25年6月

①目標利益獲得に必要な売上高算出方法

目標利益を得るために必要となる売上高は、固定費と目標利益を加算した額を限界利益率で除すことによって求められます。

$$\text{必要売上高} = \frac{\text{固定費} + \text{目標利益}}{\text{限界利益率}}$$

※固定費＝人件費＋その他固定費－営業外損益

損益分岐点売上 366,684 千円

費目	金額(千円)	対売上比(%)
売上	530,738	100.0%
変動費	37,358	7.0%
限界利益	493,381	93.0%
人件費	220,585	41.6%
その他固定費	145,025	27.3%
営業外収益	27,927	5.3%
営業外費用	3,333	0.6%
経常利益	152,364	28.7%

②目標利益獲得のための必要売上シミュレーション

(イ) シミュレーション①

利益 250,000 千円を獲得する為の必要売上 固定費予測 5.0% ※①

(単位：千円)

	固定費	必要売上高	必要増収額
固定費(現状のまま推移)	669,894	989,546	458,808
固定費 5.0% アップ	703,388	1,025,577	494,839

※①固定費の変動が見込まれる場合は、変動見込みを増加見込みなら整数を、減少見込みならマイナスで入力してください。

※固定費(現状のまま推移)は、前年の年間実績に、当月までの前年対比を乗じて当期の固定費推計を計算しています。

(ロ) シミュレーション②

利益 300,000 千円を獲得する為の必要売上 固定費予測 -5.0% ※①

(単位：千円)

	固定費	必要売上高	必要増収額
固定費(現状のまま推移)	669,894	1,043,332	512,594
固定費 5.0% ダウン	703,388	1,079,363	548,625

経営改善ナビ

<http://www.bizup.jp/solution/>

業績改善テーマ

(1)資金繰り改善

資金繰り悪化と要因別資金繰り改善策

借入返済遅延とリスクジュール対策

業績悪化・本業生き残りのための各種再建手法

小企業でも社債が発行できる少人数私募債の活用

資金効率を高める売掛債権の流動化

(2)コスト圧縮

損益分岐点を低減させる変動費圧縮対策

収益減少による人件費見直しのポイント

過剰経費の抑制を図るコスト削減手法

アウトソーシングを活用した経営の効率化

(3)売上拡大

売れる仕組みを確立するマーケティング

売上拡大を実現する営業マン育成ポイント

組織営業推進のポイント

効果を上げるサイト制作マネジメント

(4)管理会計

企業の採算管理 部門別損益管理

企業の採算管理 損益分岐点分析

企業の採算管理 価格決定

企業の採算管理 設備投資の意思決定

不正防止・業務改善

(1)不正防止

企業の成長阻害排除・不正と企業リスク

企業の成長阻害排除・内部牽制制度の確立

企業の成長阻害排除・部署別不正防止対策

企業の成長阻害排除・情報セキュリティ対策

(2)業務改善

業務効率化の進め方

5 S活動の取り組み方

生産性が高まる会議進行のポイント

業務改善マニュアル作成のポイント

人事・労務、教育テーマ

(1) 人事制度

社員のやる気を引き出す人事制度の整備

適正な処遇をするための評価制度の構築法

公正な制度運用のための考課者教育

健全経営を実現する賃金制度見直しの実務

(2) 労務管理

企業のリスク防止対策 未払い残業問題への対応

企業のリスク防止対策 最新労働災害への実務対応

企業のリスク防止対策 雇用調整の実務

企業のリスク防止対策 整理解雇の実務

企業のリスク防止対策 職場の規律づくりと活用法

企業のリスク防止対策 社員のメンタルヘルス疾患

企業のリスク防止対策 メンタルヘルスと労務管理

(3) 管理者教育

管理者が身に付けるべき能力 管理者担当責任

管理者が身に付けるべき能力 業績責任と目標管理

管理者が身に付けるべき能力 ロジカルシンキング

管理者が身に付けるべき能力 タイムマネジメント

管理者が身に付けるべき能力 ビジネスコーチング

(4) 事業承継対策

事業承継対策 後継者の育成

事業承継対策 経営承継円滑化法の活用

事業承継対策 株価引き下げ対策